

文芸OGネットワーク通信



Vol.11

〒101-8437 東京都千代田区一ツ橋 2-2-1
文芸OGネットワーク 代表 稲見 和子
発行：2009.7.18

共立女子大学文芸メディア研究室内
Tel/Fax 03-3237-2681
URL www.kyoritsu-wu.ac.jp/bungei

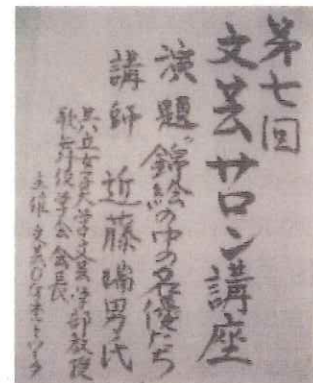
文芸OGネットワーク総会と文芸サロン講座開かれる

平成21年度文芸OGネットワーク総会報告

平成21年度の文芸OGネットワークの総会が開催されました。総会の様子をお伝えします。あわせて会計報告をご覧ください。

日時 平成21年5月23日(土)
11時～12時
会場 共立女子大学本館202号室
出席者 37名
議長 脇田静子
司会 多田久恵

- ③文芸サロン講座
年1回、総会の後に開催。山本起也氏による「ドキュメンタリー映画の現場」。
- ④劇芸術資料整理
20年度から火曜日みの作業で、30回実施。延べ268名が参加。



I 平成20年度活動報告

- ①会報
カラー印刷の会報「文芸OGネットワーク通信」9号、10号を発行。
- ②共立祭参加
村上智子さんの鎌倉彫、山崎裕子さんのこけしの展示、および、松本千穂さんの人形の写真パネルを展示。バザー開催。



総会風景

- ②共立祭参加
10月17日(土)、18日(日)開催の共立祭に参加予定。
- ③文芸サロン講座
平成22年5月の総会と同時開催の予定。
- ④劇芸術資料整理
毎週火曜日、13時30分～15時30分、劇芸術資料整理を実施予定。



- ⑤Webページについて
文芸OGネットワークのスケジュール、および、活動報告を掲載。

- ⑤Webページ
今年度も継続。

II 平成21年度活動計画

- ①会報
7月、2月に発行予定。

III 文芸学部近況報告

(下村陽子氏)

文芸学部長入江和生先生が学長に、また、染木泰子先生が文芸学部長に就任されました。

IV 代表改選と新役員選出

脇田静子氏任期満了に伴い、代表に稲見和子氏、副代表に川瀬治子氏選出。下村陽子氏は留任。

新役員(○はリーダー 敬称略)

代表 稲見和子

副代表 下村陽子 川瀬治子

総務 ○小林豊子 石井藍子

岩間正子 碓井弘子 江川優

香里 川邊恵 郷右近千代

斎藤京子 佐伯智恵子 下郷

叡子 松尾慶子 松下なるみ

百瀬好子 森田久枝 脇田静

子

会計・名簿 ○村上智子 清水秀

子 下村陽子

活動・企画 ○仙葉弘子 加藤和

代 川瀬治子 今野美保子

斎藤和子 下村陽子 杉田由

美 立川幸代 松島良子 湊

一子 百瀬好子 矢田智子

会報 ○小池恵己子 楠本敏子

酒井康子 土田富美子 百瀬

好子

資料整理 ○多田久恵

平成 20 年度会計収支決算報告

(単位:円)

◎ 収入の部

費目	予算	決算	増減	備考
1 平成20年度繰越金	1,289,850	1,289,850	0	
2 平成20年度会費	400,000	382,000	△18,000	前受金含む
3 雑収入(バザー等)	50,000	178,571	128,571	(バザー売上 140,105) ※
合計	1,739,850	1,850,421		

※ サロン講座会費、共立祭バザー、利子等

※ 会員状況：20年度会員総数 203名

20年度会費納入者数 191名 (内訳：20年度会費188名、19年度会費1名、21年度会費2名)

◎ 支出の部

(単位:円)

費目	予算	決算	増減	備考
1 行事費	150,000	155,320	5,320	サロン講座、共立祭
2 会報・広報費	50,000	77,675	27,675	編集経費、研究ファイル(購入費 31,139)
3 事務費	50,000	78,471	28,471	用紙、コピー等(封筒及び印刷代 39,000)
4 会議費	50,000	3,532	△46,468	役員会お茶代
5 什器費	0	32,830	32,830	プリンター修理及び購入
6 通信費	120,000	74,880	△45,120	ハガキ、往復ハガキ、宅配メール便等
7 渉外費	10,000	25,075	15,075	用務員謝礼等
8 劇芸術資料整理費	50,000	0	0	
9 予備費	1,259,850	0	0	
10 支出合計		447,783		
11 次年度繰越金		1,402,638		
合計	1,739,850	1,850,421		

※ 21年度繰越金：1,402,638円(普通預金[郵便公社]：1,383,513円、現金：19,125円)

上記の通り相違ございません。会計監査 江川優香里 印

仙葉 弘子 印

平成 21 年度予算

(単位:円)

収入		支出		
費目	金額	費目	内容	金額
21年度繰越金	1,402,638	行事費	共立祭、総会・サロン講座	150,000
21年度会費	400,000	会報・広報費	会報・広報年2回発行、研究ファイル年2回送付	80,000
雑収入(バザー等)	50,000	事務費	用紙・コピー代等	50,000
		会議費	役員会等	20,000
		通信費	郵送料等	100,000
		渉外費	用務員謝礼等	20,000
		劇芸術資料整理費	交通費補助等	50,000
		什器費		0
		予備費		1,382,638
合計	1,852,638	合計		1,852,638

新代表 稲見氏に決まる



ご挨拶

稲見和子(S49卒)

この度、会の代表を引き継がせていただきました。文芸

学部創設 50 周年を機に誕生したこの会は、今年で 7 年目に入り、子供に譬えると、小学校 1 年生になったばかりです。母校を愛し、文芸学部で学んだご縁を大切に諸先輩が立ち上げて下さった文芸 OG ネットワークをより多くの方々に知ってい

ただき、友愛の輪を広げていけることを願って、微力ながら務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。前任の脇田さんはじめ皆様のご尽力に感謝いたしますと共に、今後も温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

第7回文芸サロン講座

総会終了後、第7回文芸サロン講座が開かれた。今回は「錦絵の中の名優たち」と題して、文芸学部教授で、歌舞伎学会会長でもいらっしゃる近藤瑞男氏にご講演いただいた。

はじめに大学院で師事された百瀬さんが近藤氏の紹介をされた。氏は評論や劇評などで活躍され、いろいろな演劇賞の選考委員をつとめられている。近著に『元禄歌舞伎の展開』がある。

そもそも、近藤氏が歌舞伎研究に進まれた根源は、昭和38年、氏が高校生の時に見た十一代目団十郎の襲名披露の助六に魅了されてしまったことにある。十一代目は私の学生時代には海老さまともてはやされ、今の海老蔵の祖父だが、絶大な人気にも溺れず精進した立派な人だった。近藤氏は古い時代の歌舞伎を知るために歌舞伎錦絵を蒐集されている。今回その大切なお品の中から、江戸末期から幕末



資料 曾我五郎を演ずる海老蔵

にかけての名優たちの錦絵を何枚も見せていただき、当時の歌舞伎界の名優たちについて語っていただいた。



初期の錦絵は墨一色の木版画だった。半紙を二つ折りにして和綴じにした絵本<芝居百人一首>の中の一枚を見た。勇ましく目をむいたにらみの五郎や美しい女形・水木辰之助の槍踊りは、共に厄払いの意味をもっている。この団十郎の図柄は、歌舞伎座のシンボルマークとして使用されているので、ご覧になった方も多いと思う。芝居大好きな江戸の女たちは、この絵本を買って来てはそれぞれぬり絵のように彩色して楽しんだ。綴じ糸ははずされバラバラになり、完本としてあまり残っていない

いそうである。

国芳画の<曾我の対面>は多色刷りにはなったが、まだ背景が描かれてはおらず、後の豪華絢爛な歌舞伎錦絵にはほど遠い。この五郎の役は団十郎で、当時まだ海老蔵だったので衣装の蝶の模様の体の部分が見事な海老になっている。豊国画の<関の扉>の関守関兵衛も<景清>も七代目団十郎で、当代一の役者だったが、豪華な衣装や豪勢な生活をおくったために天保の改革の禁令に触れ、江戸追放になってしまった。実子八代目団十郎は<切れ与三>の初演を菊五郎のお富で演じ、父に劣らない役者だったが、大坂で切腹してしまう。その<旅立ち姿>や袴をつけた忠臣蔵の判官切腹姿の<死に絵>は三百何十枚も刷られたという。養子の九代目団十郎は明治に生きた人で、時代の近代化にあわせて歌舞伎の近代化と古典保護に力を注ぎ、勿論、役者としても立派な人で、浅草へ行けば彼の銅像にお目にかかれるそうである。

錦絵は今では江戸歌舞伎看板絵として鳥居派の家で受け継がれ、上演中の劇場の前を豪華絢爛に飾っている。
仙葉弘子(S33卒)

■日本舞踊に挑戦

S35年卒業の百瀬好子さんは、今年3月22日、国立小劇場において大和楽「四季の花」を踊りました。実に30年ぶりの本舞台ということです。



2年前の修士論文では「近代における日本舞踊の発生と展開」をまとめ、現在も研究を続けているとのことですが、合わせて実技にも研ぎをかけたかったと本格的な稽古を再開し、舞台に立った

広場 - ひろば -

とのことでした。

百瀬さん曰く「古稀を過ぎ、人生のひとくぎり」とか。これからも挑戦は続きます。

■パステル画個展開く

仙台在住の今野美保子さん(S35卒)、共立祭においては、OGネットのために若く、明るいイメージポスターを制作していただいている、お馴染みのひとです。

6月2日～7日仙台市のギャラ

リー杜間道にてパステル画21点の個展を開催しました。東京から馳せ参じた矢田智子さん(同級生)「いい絵だ



ったわよ」と感想を寄せてくださいました。

子どもの頃から絵を描いてきた今野さんですが、時に眼病と闘うという辛さ乗り越えて、今後も研鑽を重ねようとしています。「限りある人生、できる間に」と、創作意欲満々、勇気をもらえますね。

気がつけば古稀

渡邊千恵さんの「心の花賞」

選者賞受賞を祝して

昨年の秋にあなたから第8回「心の花賞」選者賞受賞のお知らせを頂き、文芸学部1年生から50年余のつき合いの友の受賞を、私はうれしき一杯で受け取りました。

鎌倉生まれの鎌倉育ちのあなたが、郡上に住む方とご縁を結び、その地で保育園の園長を10年以上され幼児教育に尽くされました。いつぞやそちらに遊びに伺った時、町の中で若い方から「渡邊先生」と声をかけられ、あなたが「どう元気にしとった？」という何気ない会話の中に、ここで堂々と根を張ったあなたの姿がありました。

その郡上で伝統ある短歌の結社「心の花」(佐佐木幸綱主宰)に入会。この度選者賞を受賞されたことは、この地でしっかりと生きてきた証だと思

渡邊千恵氏 (S35 卒) は「気がつけば古稀」と題する短歌の作品により「心の花賞」選者賞を受賞された。渡邊氏から吉報を受けた松尾慶子氏がお便りの形にしてお祝いのご挨拶を寄せてくださった。



郡上のフィールドミュージアム。中に「和歌文学館」がある。

います。その作品には郡上の自然と習俗と情景が見事に格調高く、静謐に、清朗に詠まれています。

私は私なりに音色を入れて楽しんでます。<神婦杉>の静かなる呼吸はチェロ、目覚める<獅子寝床杉>とくくるす桜>のシテ方の夢はフルート、山桜<横大門>はオーボエ、<気がつけば古稀>はクラリネット。

あなたの感性と郡上のすべてに乾杯！ 松尾慶子 (S35 卒)

.....
 なる。こうなると再演、再々演のプログラムも見てみたくなる。舞台芸術は一回性のものではあるけれど、プログラムを手がかりになにがしか追体験することは可能である。

卒業生からプログラムを多数寄贈していただいている。若い頃より手元においていた思い出の品を手放すには決心が必要であつたらうと、深く感謝している。整理している我々も、その劇場に実際足を運んで観劇したような気分になってパンフレットに向きあっていることがある。疲れを忘れるひと時でもある。パンフレットのご寄贈を会員のみなさまにお願いいたします。

多田久恵 (S45 卒)

「気がつけば古稀」(『心の花』2008年9月号)より抜粋
 聳え立つ<神婦杉> ゆさゆさと七百年の静かなる呼吸
 天津風<神遊杉> 揺るがして山城の跡 春ま近なり
 勢みたる祭囃子の笛の音に獅子は目覚める<獅子寝床杉>
 夕されば神の御前の薪能 火入れの儀式今始まりぬ
 篝火に言霊ほむら立ち来たり へくるす桜のシテ方の夢
 山桜<横大門>の並木道花によいしれ酒に酔いたり
 春なれば花見に興じ秋なれば紅葉を狩り来ぬ気がつけば古稀

掲示板

◎共立祭 10月17日(土)、18日(日)開催決定。
 総合テーマは「千紫万紅」、テーマカラーは秋桜色。OGネットは今年も創作作品の展示とバザーで参加の予定です。展示する創作作品(絵画、陶器、織物、染色、木彫等)のご協力など、自薦・他薦を問わず、ご意見、アイデアがありましたら、7月いっぱいまでにお寄せください。
 バザーの品物募集 共立祭でのバザー出展のために、品物のご寄付をお願いします。バザーの品物は3号館551号室あてに郵送、もしくはお持ちください。9月29日(火)、10月6日(火)、10月13日(火)の午後2時～4時に受け付けます。

劇芸術資料室から

森光子主演「放浪記」が平成21年5月9日で、2000回を迎えたという。89歳の主演であるから脱帽するばかりである。おりもおり、資料室で昭和30年代のプログラムを整理していたら、芸術座の「放浪記」初演(昭和36年10月)のプログラムがでてきた。まだ紙も粗い薄っぺらなものであるが、菊田一夫の挨拶に熱がこもって

編集後記

◆『通信』が、会員の皆様を結ぶネットワークをさらに広げ、相互交流の一助となれば幸いです。どうぞお気軽にご意見、ご報告をお寄せください。(小)